

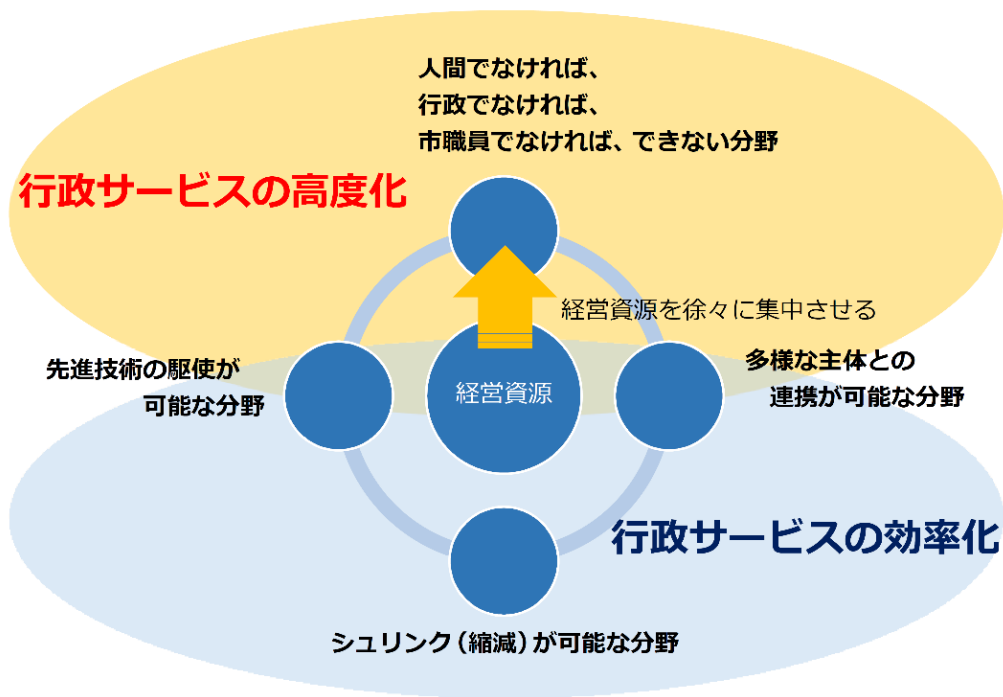
「スマートでスリムな行政運営の確立」へ向けて

✓ プロジェクトの背景

本市では、新しい「岡崎市行財政改革大綱」を令和2年11月に策定し、10年後に「スマートでスリムな行政運営の確立」を実現することを目指しています。

「スマートでスリムな行政運営の確立」を目指す目的は、先進技術の駆使や必要性の低下した事業のスリム化等により、ヒト・モノ・カネ・時間といった市の経営資源を、人間でなければ・行政でなければ・市職員でなければできない分野に集中的に投資することで、より高度で魅力的な行政サービスを市民の皆様へ提供し、さらなる岡崎市の発展と持続可能な行政運営を実現することです。

本市では今までも全庁的な業務改善運動を展開し、各職場において自発的な業務改善に取り組んできましたが、これをより進化させ実効性の高いものとするため、民間企業と連携し、支援をいただきながら、業務改善を進めることとなりました。



✓ 連携の経緯

令和2年度に、自動車業界を始めとした様々な業界・業種においてマニュアル制作を主要事業とされている株式会社シイエム・シイから、自社の強みを活かした行政課題の解決の支援ができないかとの打診をいただき、一部の部署において業務棚卸による「見える化」及び業務マニュアルの作成による「業務標準化」に取り組みました。

このノウハウをより進化させるため、同社から令和3年度も引き続き行政課題解決の支援をいただけるとの提案をいただいたことから、令和3年4月22日に「行政事務の効率化及び高度化に関する包括連携協定」を締結し、スマートでスリムな行政運営の確立を目指して、連携して取組を進めることとなりました。

株式会社シイエム・シイ

代表者：佐々 幸恭

設立：1962年5月25日

資本金：6億5,761万円

売上高：170億7,113万円（2020年9月期・連結）

95億883万円（2020年9月期・単体）

従業員：972名（2020年9月30日現在・連結）

450名（2020年9月30日現在・単体）



協定の内容

- (1) 業務手順の棚卸及び可視化を通じた業務改善
- (2) 業務マニュアルの作成
- (3) デジタル技術の活用
- (4) 職員の意識改革
- (5) その他

岡崎市の想い

- 業務改善を推進したい
- デジタル化を推進したい
- 職員の意識改革を図りたい

CMCの強み

- 業務標準化ノウハウ
- 深い業界・業務知識を活かしたマニュアル制作
- 公共関連システム知識



✓ 対象部署選定の経緯

本プロジェクトは、消防本部（総務課・予防課・消防課・共同通信課・中消防署）を対象部署とすることになりました。

その理由としては、近年の消防を取り巻く環境として、南海トラフ巨大地震及び局地的な豪雨などの自然災害への対応が喫緊の課題となっており、諸災害に迅速かつ的確に対処するため、消防体制の充実強化に万全を期す必要がある一方で、消防本部の各職場においては、消防職員が内部事務も担当しており、職員にかかる事務負担も増加しつつあります。

消防職員の業務は、まさに「人間でなければ・行政でなければ・市職員でなければならない分野」であるため、消防職員の事務の負担を軽減し、消防・救急・災害対応に専念できる体制を整えることが、行財政改革大綱で目指す市民サービスの高度化に直結すると判断したためです。

消防職員の事務負担軽減



本市の消防力の向上



市民の安全安心の向上



✓ 問題点の発見

本プロジェクトを進めるにあたり、まずは消防本部各部署へヒアリングを行い、消防本部のあるべき姿（理想の姿）と、現在の姿を把握しました。

そして、この両者のギャップを「問題点」として捉え、問題点を解決するための方向性を、本プロジェクトにおける「課題」として設定しました。

理想の姿

- ・ 緊急事態に対応できるよう、
心身に余裕のある状態
- ・ 訓練や研修を十分に実施できている状態
- ・ 市民へ火災予防思想等の普及啓発が十分に
できている状態

現在の姿

- ・ 内部事務が忙しくて余裕がない。
- ・ 内部事務に苦手意識があり、ストレスや
プレッシャーを感じる。
- ・ 市民への普及啓発など全力でできていない
業務もある。

ギャップ = 問題点

- ・ そもそも内部事務の業務量が多い。
- ・ 紙ベースで行う業務が多い。システムへの手入力
が多い。デジタル化がされていない。
- ・ マニュアルが十分でなく、知識や経験が蓄積されない。



プロジェクトによる課題解決！



✓ スケジュール

プロジェクトは概ね以下のスケジュールで進める予定です。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	Step 1		Step 2	Step 3	Step 4	
岡崎市の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● キックオフ (4月28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート ● 対象業務の絞り込み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務棚卸の実践 ● 自治体間比較 	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な業務改善の実践 (課題の解決) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告会 ● 報告書公表 	
シイエム・シイからの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務標準化セミナー (5月17日) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務棚卸ツールの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伴走支援 ● 改善効果の創出 (ソリューション運用) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 結果まとめ 	